

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(技術・工業・情報) / 米延 仁志

### ■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

#### 1. 目標・計画

既に十分に採択されているため、あらたな申請に向けたテーマと計画は設定しない。

#### 2. 点検・評価

採択: 文科省科研費採択12件(内、代表者2, 研究分担者・連携研究者10)

申請: 挑戦的萌芽研究2件(代表者, 連携研究者), 基盤B1件(研究分担者), 基盤B(海外)(連携研究者)1件

##### I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

#### 1. 目標・計画

- ・調査等で教育委員会を訪問する機会が多いため、その際に本学大学院を紹介している。これを継続する。
- ・科研組織の他大学での学生を対象に、本学の紹介を行う。

#### 2. 点検・評価

年度目標を実施した。1件問い合わせがあり、面会時に本学の説明をしたが、残念ながら受験に至らなかった。

## II. 分野別

### II-1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

- ・担当授業の学習内容の精選とテキストの更新に取り組む。
- ・学生の相談に随時応じ、自らの課題解決について、学生が自律的・主体的に取り組むことを促す。
- ・教員採用試験対策等に積極的に関与する。

#### 2. 点検・評価

- ・教員採用試験(面接)のための資料集を作成し学生に提供した。
- ・学習指導要領, 教育実践の事例集を集中的に収集し, 学生に提供した。
- ・実業系の高等学校教科書(53冊)を完備した(本学の教科書ライブラリ充実と専門科目の基礎事項の学習のため)。
- ・実習室の工具・教材・教具等を充実した。

### II-2. 研究

#### 1. 目標・計画

- ・既採択の科研課題の推進に全力を尽くす。また, 本学理事, 事務組織に協力を要請する。
- ・国内外の共同研究を精力的に遂行する。
- ・研究成果を纏め、論文を出版する。
- ・領域融合的・国際的な共同研究を活発に行う。

#### 2. 点検・評価

- ・科研課題(新学術領域研究, 基盤研究A)の推進に全力を尽くした。
- ・成果公開:国際誌(査読有)9件, 紀要1件, 研究発表17件, シンポジウム・招待講演3件
- ・Science誌において, 世界最先端の年代軸目盛りを出版した。
- ・文科省科研費以外の研究助成受託実績: JSPS先端拠点形成事業(北大・アイヌ・先住民研究センター)研究協力者, 総合地球環境学研究所フルリサーチプロジェクト「温暖化する亜シベリアの自然と人」研究分担者, Baikal-Hokkaido Archaeology Project(カナダ・アルバータ大学・学術研究助成)研究協力者

## Ⅱ-3. 大学運営

### 1. 目標・計画

担当する委員会に積極的に参加し、本学の運営に貢献する。

### 2. 点検・評価

- ・就職委員を務めた。関連して教員採用実技ガイダンスに積極的に関与し、学生には個別に事後指導を行った。
- ・知的財産室委員を務め、発明等申請に関する問合せに対応した。
- ・利益相反委員を務めた。
- ・学長の定める重点目標に応じて、科研費説明会の講師を務めた(H23.09.23)。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携、国際交流等

### 1. 目標・計画

- ・研究評価(科研費評価委員、国内外の研究におけるレビューア等)に全力を尽くす。
- ・研究課題を中心に講演会や公開シンポジウムを積極的に行う。
- ・国際的な共同研究を推進し、本学の存在感を国際的に高める。
- ・附属学校での教材作成への協力や提供を行う。

### 2. 点検・評価

- ・研究成果が世界的に報道された。国内: 全国紙、NHK「サイエンスZERO」、国外: ほぼ全ての先進国メディア(BBCテレビ・ラジオ、Nature誌、Wall Street Journal等)
- ・一般向けシンポジウムの開催(札幌大学)
- ・附属中学校に教材・教具を提供した。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

- ・教採対策への積極的関与
- ・科研費
- ・科研費説明会講師
- ・国際誌のトップジャーナルで論文を出版した。
- ・Science誌の成果では文科省から会場の提供を受け、国内外に成果を公表した。